

インドネシアにおける特定原産地証明書の通関トラブルについて

平成 22 年 6 月 10 日
日本商工会議所国際部

インドネシアにおける特定原産地証明書の通関手続きにあたり、以下の状況との情報があります。インドネシア向けの特定原産地証明書の取得を予定されている申請者におかれましては、ご留意のうえ、手続きをお願いいたします。

<概況>

インドネシア当局が 6 月 2 日付の通達において、原産地証明書の承認日が、船積日以降になっていないと、特定原産地証明書が通関手続きで受け付けてもらえないとの情報。

<対応>

現在、事実関係の確認を進めていると同時に、経済産業省に対応を申し入れている状況。

<参考>

日インドネシア協定の運用上の手続き規則には、以下のとおり記述されています。

日・インドネシア経済連携協定に関する「運用上の手続規則」の抜粋（英語）

Agreement between the Republic of Indonesia and Japan for an Economic Partnership OPERATIONAL PROCEDURES

PART 2 RULES OF ORIGIN

SECTION 1. Certificate of origin (COO)

Rule 3 Issuance

(a) In principle, a certificate of origin should be issued by the time of shipment or no later than three days from the date of shipment.

⇒(a)原則、原産地証明書は、船積時まで、もしくは船積時から3日以内に発給されるものとする(仮訳)。

<全文はこちら↓をご参照ください（10ページ）>

<http://www.mofa.go.jp/region/asia-paci/indonesia/agree0807.pdf>